

## ふるさと講座歴史系

### 「秋の渡り鳥観察会」のお知らせ！

この時期数多く見られる「ガン・カモ類」を中心とした観察会を行います。野付半島にある最後の番屋から徒歩で先端を目指したいと思います。半島先端から見える根室半島から知床半島の風景を見ることが出来ます。是非ご参加ください。

- 日 時 平成22年11月28日(日)  
午前9時～12時
- 場 所 野付半島(集合は野付半島ネイチャーセンター2階)
- 講 師 上西春別中学校 教諭 藤井 薫 氏
- 定 員 15名(電話・FAX・メールにて氏名・電話番号を11月26日(金)までにご連絡ください。)
- その他 防寒着・長靴を着用ください。図鑑・双眼鏡をお持ちの方は持参ください。当館でも若干貸出しします。



## 郷土学習などにご利用いただきました。



●10月26日(火)に第51回別海町女性大会「古の勾玉作り」(別海町女性団体連絡協議会主催)の実技指導を行いました。滑石という軟らかい石を紙やすりで削り勾玉を完成させました。(写真左)

●10月27日(水)上春別小学校3、4年生20名が郷土資料館を見学後、昔の道具「せんべい焼器」でせんべい作りを行いました。鉄製で重たく、焼きかけも難しかったようですが、おいしいせんべいが出来上がりました。(写真左)

●その他10月の団体入館状況  
別海くるみ幼稚園  
根室管内高等学校教育研究会など



※体験学習をご希望の場合は事前にご連絡ください。

# 近世の別海を探る

## 「西別川河口から南、風連湖内」～その8～

### ヘケレシリ

文献資料の標記は「ヘケレシリ」です。

○地名の由来

〔ヘケレシリ〕「ヘケルウシ 明るきよし」

『午手控』松浦武四郎 安政5年(1858)

### ムヌシ

文献資料での標記は「ムヌシ」「ムンウシ」があります。

○地名の由来

〔ムヌシ〕(川口の小島)「ムニウシ、ムニは草の惣名也」

『午手控』松浦武四郎 安政5年(1858)

〔ムンウシ〕「草多キ處」

『北海道蝦夷語地名解』永田方生 明治24年(1891)

### ヤウシヘツ

文献資料の標記は「ヤウシヘツ」「ヤウンベツ」「ヤウシベツ」「ヨン子ヤウシヘツ」「ヨン子ヤウシ」「オンネヤ ウシュベツ」があります。

○地名の由来

〔オンネヤ ウシュベツ〕「網曳ノ大川」『北海道蝦夷語地名解』永田方生 明治24年(1891)

○地勢・建物など

松前藩復領時代 文政4年(1821)～安政元年(1854)

・「ヤウンベツ 川有。巾七、八間と聞り」『初航蝦夷日誌』松浦武四郎 弘化2年(1845)

・「ヤウシベツ 此所に川有。巾八間程、深サ三尺程」

『古人の邑嶺 嘉永七甲寅年間七月〔子モロ場所〕』加賀伝蔵 嘉永7年(1854)

### シヤンヌエ

松浦武四郎や加賀伝蔵の資料に登場する小川名で、現ヤウシュベツ川の南に位置します。

### ハシヨヘツ

文献資料での標記は「ハシヨヘツ」「ハシヨヘツ」「ハシヨオベツ」があります。

○地名の由来

〔ハシヨオベツ〕「柴多キ川」『北海道蝦夷語地名解』永田方生 明治24年(1891)

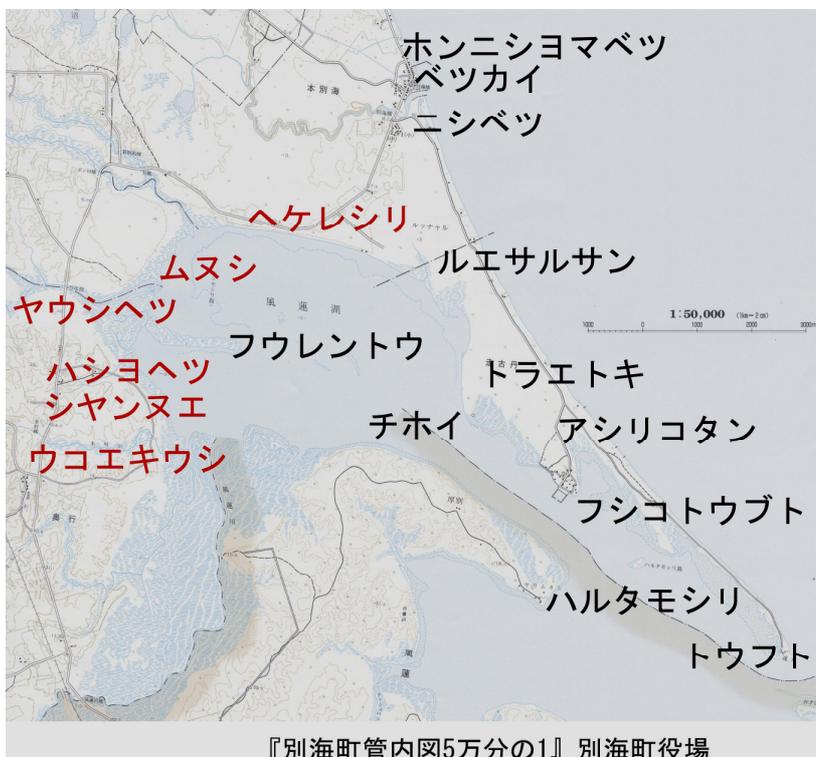
### ウコエキウシ

文献資料での標記は「ウコエキウシ」「ウコイキウシ」があり、「小川有」と記述されています。

○地名の由来

〔ウコイキ ウシ〕「争鬪セシ處 根室ポロモシリ村ノアイヌ厚岸アイヌト戦ヒシ處ナリト云フ」

『北海道蝦夷語地名解』永田方生 明治24年(1891)



別海町郷土資料館だより No.136

発行日 平成22年11月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町30番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

### 編集後記

100名の女性で勾玉作りを行いました。やはり男性とは見方が違うようで、極め細やかに作り美を追求するようです。石を光らせるにはちょっとした裏技があり、後で教えたのですが、きっとピカピカの勾玉に仕上がっていることでしょう。(K.I)